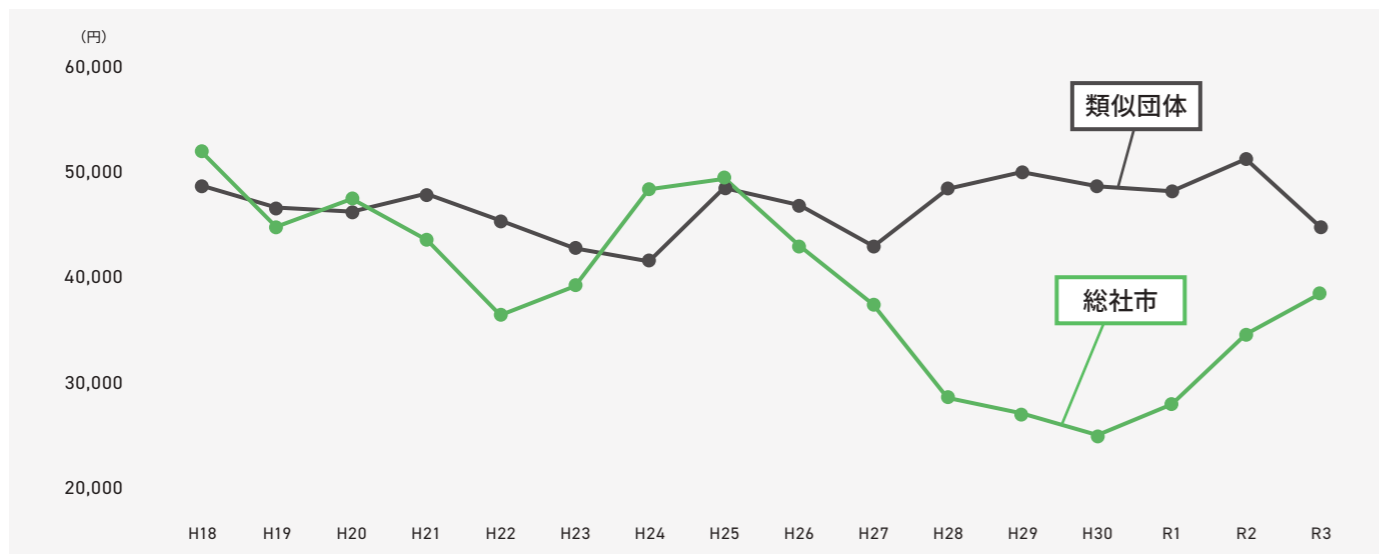


次のグラフは、総社市と財政規模や産業構造が似かよった団体（＝類似団体）の、人口一人あたりに換算した土木費決算額の比較です。

人口一人あたり土木費決算額



類似団体は概ね一人当たり4万円から5万円の間を推移していますが、総社市は最高5万2千円から最低2万5千円まで、かなりアップダウンが大きい印象です。さらに、全体的に土木予算が少ない印象を受けます。では、類似団体並みの予算を計上するには、あとどれぐらいの予算が必要なのでしょうか。

片岡市長が市長就任後の平成20年度から令和3年度までの14年間の平均では、**人口一人当たり年間約9000円少ない**です。これを総社市の人口に掛け合わせると**年間6億2千万円少ない**ことになります。

土木予算
類似団体

▶

土木予算
総社市

6億2千万円

どうでしょうか。総社市の道路整備が遅れている原因は、**そもそもの予算配分の金額が少ないのではないかと思います**。では、道路予算の配分をもっと増やすとしたら、どうすればいいでしょうか。片岡市政は、高齢者・子ども・障がい者などの弱者支援に力を入れています。加えてさまざまな独自政策も行っています。引き続きその独自政策を含めた片岡市政を評価検証していきます。

ご意見ご要望をお待ちしております

村木理英事務所

〒719-1156 岡山県総社市門田507 TEL:0866-90-1001
E-mail:post@muraki-riei.com
https://muraki-riei.com/



ホームページ



Youtubeチャンネル

村木理英 市政報告

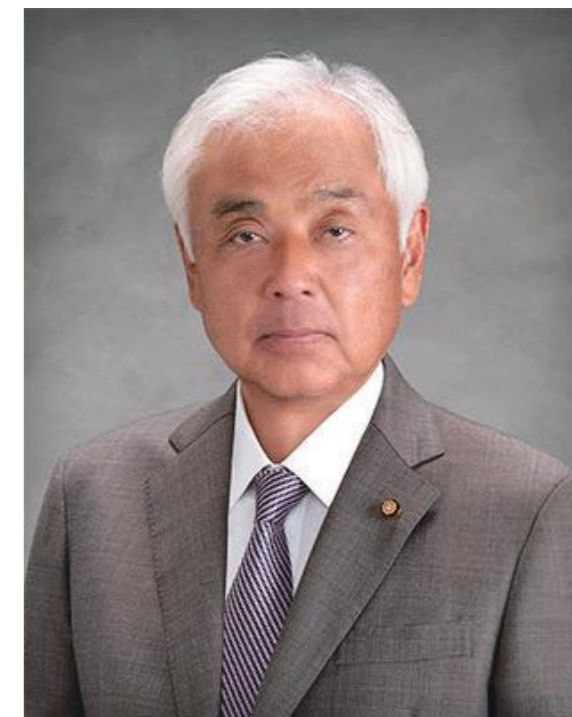
令和6年

道路行政について


ごあいさつ

平素より議員活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、地域の皆様におかれましては活力ある地域づくりにご尽力されておられますことに深く敬意を表します。

さて、私は、現在総社市議会議員6期目ですが、今期は第10代、第12代の議長を務めさせていただいております。一議員では知りえなかったこと、できなかった多くのことを見聞きできます。この経験を議員活動に生かし、議員としてあるべき姿を貫いてまいります。



この度私の思いをまとめました『市政報告』が出来上がりました。ぜひご一読いただければ幸いです。引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



今回のテーマは道路行政

これは総社市のとある道路の写真です。穴があいたまま放置されています。なぜ総社の道路整備が遅れているのでしょうか？総社市の予算・決算の観点から考察します。

総社市政にモノ申す!

これでいいのか 道路行政

第1弾

～なぜ 総社市の道路整備は遅れているのか～

ガタガタ...

ボロボロ...

ボロボロ...

デコボコ...

最近市民の方から、こんなお声をよく聞きます。

どうしてこんなに市内の道路は渋滞するのか?

道路に穴があいているのになかなか直してくれない...

道路がデコボコしていて危険! 走りにくい!

そこで総社市の道路行政を予算・決算の観点から考察します。

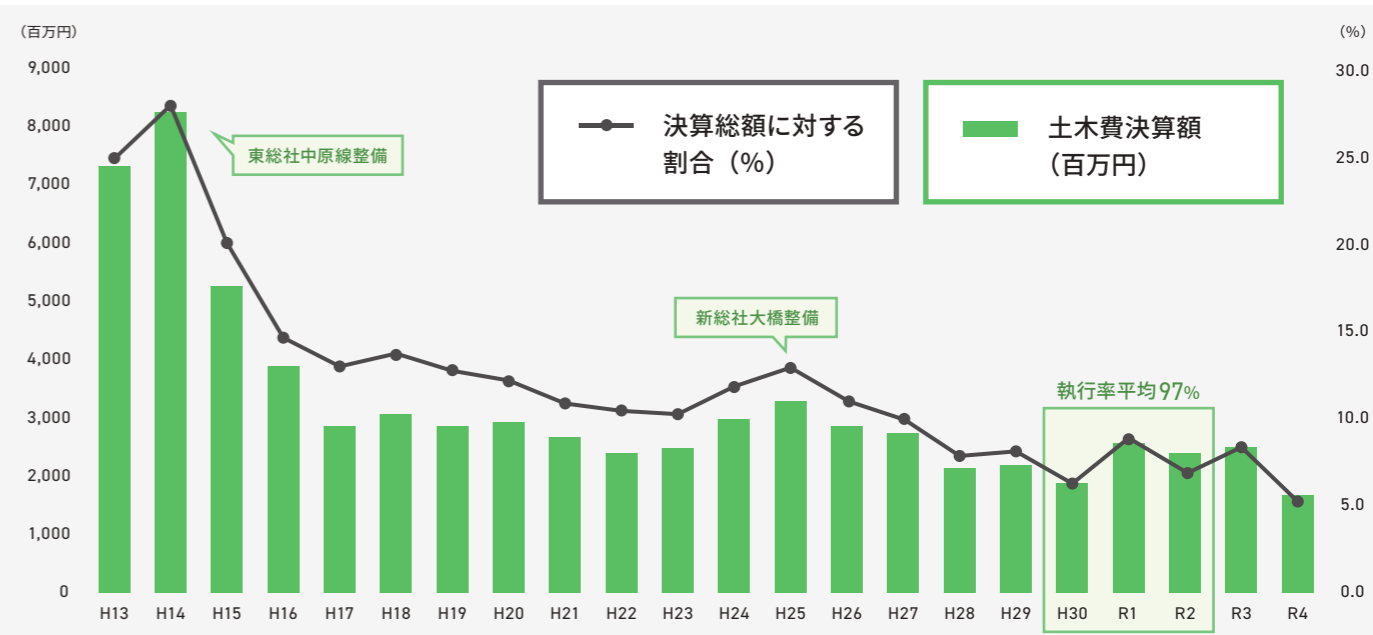
まず総社市では平成30年度から3年間「地域力予算」として地域の道路整備を重点的に行うための予算を配分していました。平成30年度は豪雨災害のため執行率が低かったですが、3年間でトータルしてみると執行率97%で予算執行上の効果は十分にあったと考えます。



では、なぜ道路整備が進んでいる実感が持てないのでしょうか?

予算自体が少ないのではないかと考え、この予算額を過去の総社市と同じ規模の自治体と比較してみます。下図は土木費決算額の推移です。

土木費決算額の推移



平成14年度をピークに年々減っています。平成14年度ごろは岡山国体開催を前にして東総社中原線整備などを行ったのだと考えます。平成25年度ごろに一時増えているのは新総社大橋の整備です。近年の土木費は、ピーク時の4分の1程度しかありません。

もっと身近な数字にして詳しく見ていきましょう。 ▶▶ 次ページへ